

# 医療軸に活性化

国際拠点や  
企業集積 県などが協議会

神奈川県と横浜・川崎市などは9日、医療を軸に京浜臨海部を活性化する「ライフイノベーション地域協議会」（金沢一郎会長）を設立した。再生医療やがん研究の国際的な拠点づくりと企業集積を目指す。まず横浜銀行や味の素、慶応大学など約20の企業・研究機関・団体が参加する。

羽田空港に近い川崎市殿町地区（約40㌔）で計画中のライフサイエンス（生命科学）研究施設を中心に県内の開発拠点を

を連携させる。当面は規制緩和の特例措置や税制・金融などの支援がある。国の「国際戦略総合特区」の地域指定を目指して構想をまとめ、2011年度に提案する。

横浜市の林文字市長は「日本が国際競争力のある拠点を形成するには地域の枠を超えた取り組みが必要」と強調。川崎市の阿部孝夫市長は殿町地区の名称を「キング・スカイフロント」に決定したことを明らかにした。同時に開いた有識者ら

で構成する「国際競争拠点形成戦略会議」（小宮山宏座長）では医療とIT（情報技術）の融合、ベンチャーファンドの必要性などが指摘された。